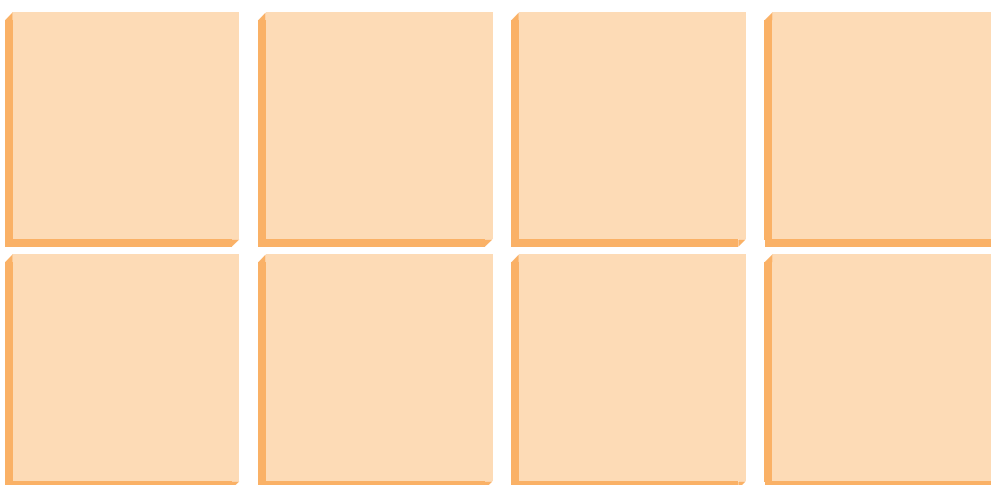


第1回

平成21年度
香歯ポストグラジュエートセミナー
併 催 香歯医療管理セミナー



平成21年7月26日（日）

午前10時より

香川県歯科医療専門学校 2F 講堂
（香歯東館）

主 催 社団法人 香川県歯科医師会

（日歯生涯研修ICカードをご持参下さい）
コードNo. 0601

■御挨拶



香川県歯科医師会
会長 豊嶋 健治

平成21年度香歯ポストグラジュエートセミナーを開催するにあたり、主催者を代表してご挨拶申し上げます。今回、新執行部発足後、初めてのポストグラジュエートセミナーの講師として、熊本でご開業の永田省藏先生にご講演をお願い致しました。

高齢化社会の今日、われわれ歯科医師は国民のQOLの維持・向上に重大な責務を負っています。「いつまでもおいしく食べられる」という幸福は、健康な口腔があってこそ実現できることは言うまでもありません。う蝕や歯周病の予防・治療に加え、歯を欠損した患者さんの咬合を改善し、長期間安定した咬合の維持をはかることは、歯科医師の使命だと考えます。

ご存知のように永田先生は、平成19年度日歯生涯研修セミナーの「義歯の一分」と題するご講演の中で、「今後高齢者が増えていく中、よりよい対応を目指すうえで今一度入れ歯を見直してみませんか」とご提案されています。可撤性の部分床義歯と固定性のインプラント、一見相反するようにみえる治療法をどのように選択あるいは併用して欠損補綴を行っているのか、今回のご講演で詳しくお聞かせいただけるものと楽しみにしております。

また、今回は初めての試みとして、昼の時間に医療管理セミナーを併催し事業部同士が連携したセミナーと致しました。日々の診療でお忙しいことは存じますが、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

■プログラム

| | | | |
|-------|----------------------|----------------|-------|
| 10:00 | 開 会 | 学術担当常務理事 | 蓮井 義則 |
| | 挨拶 | 香川県歯科医師会会長 | 豊嶋 健治 |
| 10:10 | 講 演 | | |
| | 「欠損歯列の捉え方とインプラントの応用」 | | |
| | | 熊本市 | 永田 省藏 |
| 12:00 | 昼食休憩 | | |
| | | | |
| 12:30 | 医療管理セミナー | | |
| | 「新型インフルエンザと院内感染対策」 | | |
| | | 香川県健康福祉総務課課長補佐 | 星川 洋一 |
| 13:00 | 講 演 | | |
| 14:30 | 質疑応答 | | |
| 15:00 | 閉 会 | 香川県歯科医師会副会長 | 武部 裕光 |

■ 講演



「欠損歯列の捉え方とインプラントの応用」

熊本市 永田 省藏

● 講演抄録

歯科臨床において、歯周治療ではプロービングを行いX線診査なども併用しながら歯周組織の状況を把握することに努めます。しかし、補綴では欠損を前に、病態としての捉え方もなく、単に欠損を埋めるべく補綴設計を行っていませんか？どのような維持装置をどのように配置するかと…どのサイズの、何本の植立が必要なのかと…、デンチャーにしてもインプラントにしても欠損歯列の病態診断がなされないまま処置が進められているようです。それでも一応の機能回復、審美回復はできるものの、術後の予測もなく行った全顎的な補綴では、トラブルなどの術後の対応性への不安は拭えません。補綴治療が個体差を持ついろいろな患者への機能回復である以上、確実に予後が見通せるわけではありません。しかしながら、残存歯の病態や歯列の力学的な条件、加えて術後経過から学んだことなどを重ね合わせて欠損歯列の病態を捉え、推測される予後を考慮した補綴設計でありたいと考えています。

また、インプラント治療の多くは固定性補綴を目的として行われていますが、欠損が進行した症例では、解剖学的な条件から支持を必要とする多くの箇所インプラントの植立が可能な例ばかりではありません。また、治療費用の制約などから多数のインプラントの植立を受け入れられない場合も多いようです。一方、患者の希望が、可徹式からのがりたいということよりも、よく噛めることや術後の安定を望んでいる場合が多く、固定式にこだわっているのはむしろ術者の方かもしれません。

そのような背景から、インプラントの応用において柱としていることは、デンチャーの要所に少ないインプラントを配置することで欠損歯列を改善し、力学的なストレスから残存歯を守りながら機能回復を果たすことです。補綴が可徹性である場合、術後のトラブルや新たな欠損に対するフォローアップなどの問題も含めてそのメリットが活かせる場合が少なくありません。先進的な技術や高度なテクニックの修練も必要ではありますが、あまり無理をしない診療、術後の対応に悩まないような補綴臨床を行いたいものです。

今回の講演会では、上記のような欠損歯列の臨床背景を考慮した補綴設計、さらにはインプラントの応用を含めて、部分欠損症例に対するよりよいアプローチを考えてみたいと思います。

- 略 歴** 昭和30年 2月生まれ
昭和54年 日本歯科大学卒業
昭和54年 千葉県泉水歯科医院勤務
昭和55～60年 熊本市栢原ビル歯科診療所勤務
昭和60年 熊本市にて開業
平成17年 新築移転

- 所 属** 日本臨床歯周病学会会員（指導医）
シロクス補綴セミナー（福岡・東京）主宰
2007年度日歯生涯研修講師

●**文 献**

- 1, 「欠損歯列のリスクファクターと処置方針～症例の棲み分けをめぐって」
 - 1, 欠損歯列の診断 日本歯科評論 No. 658 : 139～155, 1997. 8
 - 2, 欠損歯列の回復と処置の実際 - 1, 日本歯科評論 No. 659 : 137～148, 1997. 9
 - 3, 欠損歯列の回復と処置の実際 - 2, 日本歯科評論 No. 660 : 125～136, 1997. 10
 - 4, 欠損歯列の回復と処置の実際 - 3, 日本歯科評論 No. 661 : 131～144, 1997. 11
 - 5, 術後経過と欠損歯列のリスクファクター 1 日本歯科評論 No. 662 : 137～151, 1997. 12
 - 6, 術後経過と欠損歯列のリスクファクター 2 日本歯科評論 No. 664 : 145～159, 1998. 2
 - 7, 連載の論点とまとめ 日本歯科評論 No. 666 : 139～153, 1998. 4
- 2, インプラントは歯列の崩壊を防ぐか 歯界展望 99(5) : 981～1021, 2002. 5
- 3, インプラントが同居するパーシャルデンチャーへの期待 日本歯科評論別冊 : 157～166, 2003, 10
- 4, パーシャルデンチャーの術後の様相とインプラントの応用 歯界展望 104(2) : 285～296, 2004. 8
- 5, インプラントの咬合～臨床上起こっている問題点 日本補綴歯科学会雑誌52巻(1), 10～16. 2008. 1

■今後の予定

第2回香歯ポストグラジュエートセミナー

日 時：平成21年11月3日(火・祝)
テ ー マ：歯科臨床フレッシュアップセミナー
講 師：岡山大学教員数名
内 容：保存(歯周を含む)、補綴、口腔外科、小児、予防
基本治療と最新治療法をセミナー形式で開催

香歯救命救急研修会 (外来環の施設基準に係る講習会)

日 時：平成21年11月29日(日)
講 師：坂出市立病院 吉川圭、さぬき ACLS メンバー

日歯生涯研修セミナー：四国地区(徳島県)

日 時：平成21年12月6日(日)
テ ー マ：「いつまでもおいしく食べていただくために Part III
—インプラントによる咬合再建—」
講 師：高森 等(日本歯科大学教授)
前田 芳信(大阪大学教授)

香川県歯科医学大会・四国デンタルショー

日 時：平成22年2月7日(日)
場 所：香川県歯科医療専門学校・香川県歯科医師会館新館
テ ー マ：未定
講 師：高橋英登(特別講演)
演 題：意識改革・納得診療・経営転換—よみがえれ! 歯科医院(仮題)
そ の 他：歯科技工士・歯科衛生士対象講演会など

8020県民公開講座

日 時：平成22年3月21日(日)
場 所：かがわ国際会議場
テ ー マ：未定
講 師：未定

日歯生涯研修ICカードを持参してセミナー会場での参加登録をおねがいます。

- 香川県歯科医師会・郡市歯科医師会・日本歯科医師会の研修会セミナーへの参加の場合
- その他、同窓会・スタディーグループで日歯生涯研修事業認定研修会への参加の場合